

11月度座談会

衆生身心御書

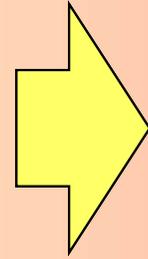
* * 地区

背景と大意

- 年月不明（建治期：在身延）
- 対告衆：不明（門下）
- 佐渡から帰還後、供養へのお手紙
- 法華経は「随自意」・仏の覚り
- 諸天善神は法華経の行者を守護
- 法華経への供養は大なる功德

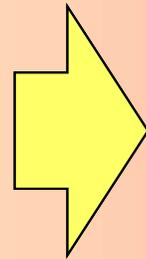
当世は世乱れ

蒙古襲来
二月騒動



社会不安
民衆は苦悩

日蓮仏法は
太陽の仏法

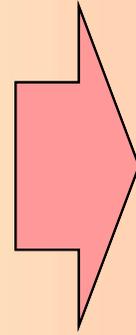


民衆救済と
立正安国を

創価の師弟は世界広布に邁進

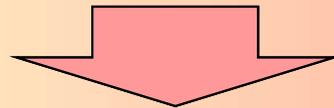
厚い心ざしの供養

御供養
真心の信心



福田に
善根の種

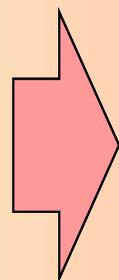
苦難を乗り越えて真心の信心
「涙も止まらない」と仰せ



広宣流布への献身は善根となる

福田に良き種

同志の志
献身の戦い



すべてが
自身の善根

仏法には無駄がない、
因果の理法は絶対である

太陽の仏法で混迷を破れ
広布への志に無量の福德が

指導から

- 広布に尽くす事で福田に善根の種
- 広布に生き抜く時、内在する
地涌の生命が躍動する
- 功德と福運により、必ず偉大な境涯に

前進ある所に勝利あり
師と共に広布の大道を歩み抜け